動物愛護管理法における愛玩動物看護師の位置付け

【概要】

- 令和元年の動物愛護管理法改正により、ペットショップやブリーダー等の第一種動物取扱業者が事業所ごとに選任義務のある「動物取扱責任者」の要件を見直し。
- 要件の1つに、愛玩動物看護師の免許取得者を位置付け。今後、獣医療 分野に留まらず、動物取扱業全般の分野においても国家資格者が愛玩動 物の適正な飼養を指導する立場として活躍が期待される。

く参照条文>

○動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年法律第105号)(抄)

(動物取扱責任者)

- 第22条 第一種動物取扱業者は、事業所ごとに、環境省令で定めるところにより、当該事業所に係る業務を適正に実施するため、十分な技術的能力及び専門的な知識経験を有する者のうちから、動物取扱責任者を選任しなければならない。
- ○動物の愛護及び管理に関する法律施行規則(平成18年環境省令第1号)(抄)

(動物取扱責任者の選任)

- 第9条 法第22条第1項の動物取扱責任者は、次の要件を満たす職員のうちから選任するものとする。
 - 一 次に掲げる要件のいずれかに該当すること。
 - イ 獣医師法 (昭和 24 年法律第 186 号) 第3条の免許を取得している者であること。
 - ロ 愛玩動物看護師法(令和元年法律第50号)第3条の免許を取得している者であること。

ハ・ニ (略)

二 事業所の動物取扱責任者以外のすべての職員に対し、動物取扱責任者研修 において得た知識及び技術に関する指導を行う能力を有すること。